



勤務先 (株)福井銀行 小浜支店
 ふじた いぶき
藤田 伊舞季 さん
 (24歳・羽賀)

『夢や希望の実現』に役立ちたい

「地元で慣れ親しんだ人や土地のために働きたい」と県外の大学を卒業後、福井銀行にリターン就職を果たした藤田さんに話を聞きました。
 今春で入行3年目を迎える藤田さんに。窓口補佐の業務を経て、現在は主に住宅ローンなどの個人向けローンを担当しており、「住宅購入は、多くの人にとって人生で一番大きな買い物です。お客さまの夢や希望の実現のために、お役に立てることにやりがいを感じます」と笑顔をみせます。
 藤田さんは、福井銀行が観光活性化を目的に、女性行員で結成する『ふくジェンヌ』に昨年5月から加入。地域のおすすぬスポーツなどを紹介する活動にも尽力しており、「多くの人が福井の魅力を知ることにつなげたい」と意気込みます。
 入行当初、知識不足のせいで素早い対応がとれず、落ち込むこともあったという藤田さん。「今後は、お客さま一人一人にしっかりと対応を心掛け、担当業務以外にも幅広い知識を身につけることで、皆さんの力になりたいです」と話してくれました。

きりり! 小浜人

外国人と身構えず気軽に声かけて

青池調理師専門学校(広峰)は、昨年10月、外国人を対象に「日本語科」を新設。教員の正田さんは、1期生のベトナム人男女18人に、日本語の読み書きや会話、日本で生活するために必要な習慣や文化などを教えています。
 23歳で日本語教師になって以来、国内外で教壇に立ってきた正田さん。今回、「今まで経験したことがない、学科の立ち上げから関わってみたい」と同校に応募し、小浜に移住しました。
 「学生たちは、育った環境も、性格も、卒業後の夢も違うし、日本にもまだまだ不慣れ。一人一人に合った指導ができるよう、日ごろから声かけや見守りを欠かさないようにしています」
 「皆さんも、市内で買い物やアルバイトをするベトナム人学生たちと出会うことが増えてきていると思います」と語る正田さん。

接し方のコツを尋ねると、「小浜はとても親切な人が多いが、外国人に対しては、慣れていないせいかよそよそしさを感じる。難しく考えず、気軽に話しかけて欲しいですね」と、にこやかに話してくれました。



青池調理師専門学校 日本語科教員
 まさだ あきこ
正田 暁子 さん
 (38歳・白鬚)

燃えろ! 青春! 部活道

最後の一球までプレーに集中

総勢9人の小浜第二中学校のソフトボール部でキャプテンを務める堀口さん。小学2年生から地元の少年野球チームに所属し、中学校に入學すると迷わず現在の部活を選びました。
 堀口さんは、中学2年のときから本格的に投手としての練習を開始。今ではエースで4番打者を任されており、「投手としてもっと速い球を投げ、バッティング面でもホームランを量産したい」と意欲をみせます。
 『周りから信頼される選手』を目指して、何事にも全力で取り組む堀口

さん。部員たちも「いつでも一生懸命で、チームのことを思い的確な指示してくれる」と信頼を寄せます。
 部では、試合の後に毎回必ずミーティングを開き、反省点などを振り返っており、「みんなで課題を共有し、克服することで、チームが着実に上達している」と自信をのぞかせます。
 目標は、「地区大会で優勝し、県大会でベスト4に入ること。ピンチのときこそチームを盛り上げ、みんなで最後の一球まで集中してプレーしていきたい」と力強く話してくれました。



ソフトボール部 キャプテン
 ほりぐち さわ
堀口 沙和 さん
 (小浜第二中学校2年生)

燃えろ! 青春! 部活道

仲間の信頼得てチームを引っ張る

1年生8人、2年生6人が所属する若狭高校女子バスケットボール部。キャプテンの芝田さんは、小学2年生のころ、友だちの影響で興味を持ち、地元のミニバスチームに入団。「一度始めたことを、中途半端でやめるのはいや。最後までやりきる」と、強い意志と責任感で、小・中・高校とバスケットボール一筋に打ち込んでいます。
 試合では主にフォワードのポジションを務め、「点取り屋」としてもチームを引っ張る芝田さん。「仲間の

い雰囲気も崩さず、かつ、気が緩みすぎないようメリハリをつけるのが難しい」というキャプテンならではの悩みにも、持ち前の責任感を発揮して「頑張ってる引き締めたい」と、部員たちをまとめます。
 チームの目標である「県大会ベスト4」は、常連校が席を占める高い壁。芝田さんは、目標達成に向けて、「ボールを回せば必ず決めてくれる」と、仲間が信頼してくれる選手になりたい」と、今日もチームの先頭に立ち、練習に励んでいます。



女子バスケットボール部 キャプテン
 しばた りん
芝田 凜 さん
 (若狭高校2年生)

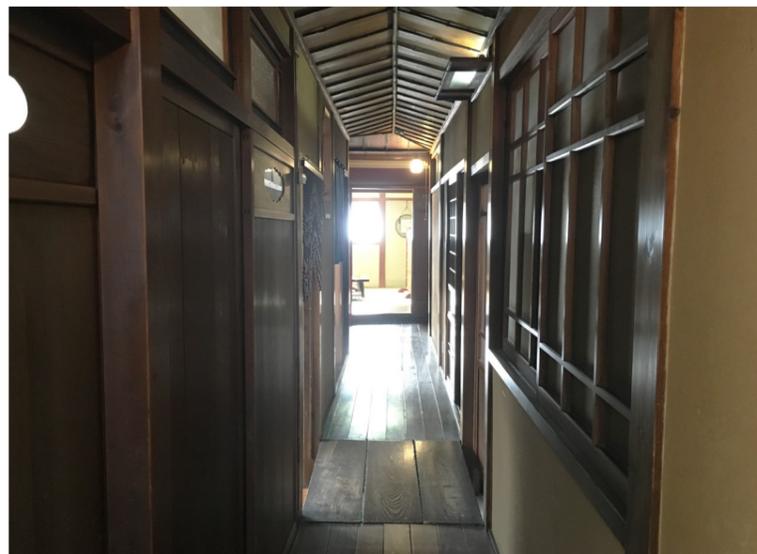
三丁町ナガタカフェ

レトロと現代が調和する小浜には、阿納尻の象の駅や飛鳥の蓬嶋楼といった、『二十四の瞳』や『坊ちゃん』などの名作の時代を連想させる建物が多くあります。

中でもこのナガタカフェさんは、明治時代に建てられ、昭和20年代に改築された元料亭で、特に写真の廊下が印象的です。板張りの細い通路の左右には、格子戸の付いた階段や意匠を凝らした細かな飾りが見られ、奥の部屋へと進むうちに、まるで名作の時代にタイムスリップしたような気分になります。

カフェの客席は、料亭の名残か畳敷きの個室になっていて、小さな子どもを連れて訪れても安心です。

私も、いつか文豪の真似をして、部屋で小説でも書いてみたいものです。



【アクセス】
小浜市小浜香取 14
J R小浜駅から徒歩で15分
小浜ICから車で10分

【文と写真】
地域おこし協力隊 ハシモト



知ってほしい、役に立つ事業をキリトリ！

市役所
お仕事ファイル

ソーシャルメディアによる
情報発信

■問い合わせ 市民協働課 ☎ 64・6009

ソーシャルメディアを活用した
情報発信

市民協働課の広報・広聴グループでは、市民の皆さんや市の各部署からの情報を基に、市内で行われる行事や各種イベントなどを取材しています。取材した情報は、本紙で掲載するとともに、市公式ホームページやフェイスブック、ツイッターなどで連動した情報発信を行っています。

今回、ソーシャルメディアによる情報発信の取り組みについて紹介します。

地域の出来事やお知らせを配信
平成26年7月から公式フェイスブック、同年9月から公式ツイッターのソーシャルメディアを活用した情報発信をスタートしました。本紙では紹介しきれなかった地域の出来事や各種お知らせなどを配信しています。また、台風などの災害時には、ホームページと合わせて避難所の開設情報や交通規制などについても随時お知らせしています。

30年は、フェイスブックとツイッターともに年間500件以上の投稿を行っています。



市公式ホームページのトップ画面に貼られているフェイスブックとツイッターのリンクをクリックすると、各ソーシャルメディアに移動します



フェイスブック

各種イベントや出来事の詳細、参加した人の感想など、細かい取材情報を掲載。写真をクリックすることで、大きな写真を見ることが出来ます

ツイッター

ツイッターでの情報発信では文字数制限(140字)に合わせ、取材内容の概要と写真を掲載の上、フェイスブックへのリンクを掲載しています

一足早く情報をお届け
フェイスブックやツイッターといった、ソーシャルメディアにおいての情報発信は、月1回の広報紙の発行よりも、一足早く地域の出来事を知ることが出来ます。

また、情報量も多く、カラーで大きな写真を見ることが出来るため、より詳しい様子が分かるという魅力もあります。皆さんもぜひ一度、市のフェイスブックやツイッターをのぞいてみてください。



市公式「ツイッター」は上記QRコードから



市公式「フェイスブック」は上記QRコードから

健康
生活のたびら

消化器疾患の
初期症状について

外科・消化器外科って？

公立小浜病院の外科では、消化器疾患や乳腺疾患を中心に診療を行っています。

病気の初期症状

外科で取り扱う病気には、初期症状からは予想もしないところに病気が存在することもあります。大丈夫だろうと思いつき、受診が遅れることで病気が進行し、根治させることが難しくなることがあります。治療開始が遅れると開腹・開胸手術が必要となり、術後の痛みが大きな負担となってしまいます。初期症状をいくつか紹介しますので、病気の早期発見・早期治療開始に役立ててください。

早期の治療開始で負担軽減

病気の早期発見・早期治療開始は、特に胃がんなどの悪性疾患においては根治に直結する重要なポイントです。発見が早ければ早いほど腹腔鏡手術・胸腔鏡手術といった身体的負担が少ない治療での根治

主な初期症状	想定される病気
胸焼け、胸痛、肩の痛み	逆流性食道炎、胃がん、胃潰瘍
上腹部痛、口臭の変化、食欲低下、吐き気・嘔吐、胃もたれ、黒色便	胃がん、胃潰瘍、十二指腸潰瘍
食後の右上腹部痛、右肩痛、発熱	胆のう結石症、胆のう炎
褐色尿、目が黄色い、突然の右上腹部痛、発熱	総胆管結石症、胆管がん、十二指腸乳頭部がん
背中・腰が痛い、上腹部痛、褐色尿、目が黄色い	膵がん
突然の上腹部の激痛、吐き気・嘔吐	急性膵炎、総胆管結石落石、胃十二指腸潰瘍による穿孔
上腹部痛に続く右下腹部痛、発熱	虫垂炎（盲腸）

が可能になります。また、虫垂炎や胃潰瘍などの良性疾患でも、早めに治療を開始すれば薬だけで症状が良くなることもあり、早く楽になります。これらの症状に気が付いたら早めに相談してください。



杉田玄白記念 公立小浜病院
■問い合わせ ☎ 52・0990

外科・消化器外科
菅野 元喜 医師